

子ども通院医療の無料化が拡大 ～無料化の対象者などで議論が白熱～



子ども通院医療費を拡大する町の原案に対し、日本共産党から修正案が出された。採決の結果、修正案は否決され、原案どおり可決された。

通院医療費無料化の状況
(平成23年4月1日現在)

越谷市・三郷市	中学校卒業まで
吉川市	就学前まで (23年7月から中学校卒業まで)
草加市・八潮市	就学前まで

《内容》 子ども通院医療費の無料対象を、町民税が非課税または免除されている世帯の中学校卒業までに拡大する。

原案に対する質疑

《内容》 子ども医療費通院分の支給を中学校卒業まで拡大するもの。

修正案に対する質疑

問 南田 どう検討したのか。同じ自治体はあるのか。近隣市はどうか。もう少し拡大してはどうか。

答 福祉健康課長 さまざまな条件で試算した。まずは低所得者世帯が対象と判断。全国に1ヶ所あった。通院の支給は、県内、中学校卒業までが越谷市、三郷市、吉川市、宮代町など36市町。

問 町長 最後の形でない。年齢上げる検討をする。

答 庄子 子育て支援なら収入ではなく年齢で区切るものではないか。

答 企画財政課長 予算組む中、担当課と協議した。

問 山崎(善) 執行部任せの増額修正では町長の予算提出権の侵害に当たるのではないか。

答 吉田 町の一般財源は実質、約1億9千万円の増額で財政措置の見込みがつくと判断する。

問 庄子 予算提出権の侵害と考えないか。

答 総務課長 侵害だ。

問 吉田 長の提出権限を侵さない範囲だ。

問 佐藤 修正動議によって新しい施策の障害にならないか。

答 企画財政課長 確定財源を持って予算措置をすべきだ。

問 吉田 実質、約1億9千万円程度の財源を住民サービス向上へどうつなげるかは政策的な判断に属する。やりくりをすればやれる範囲だと考える。

問 町長 長期の見通しで判断すると、心配だ。

原案に賛成

新自民クラブ

庄子敏一

非課税世帯だけを対象にしたことは完全に納得いくものではない。しかし、予算全体、行財政運営における現実的な対応と、子供を安心して育てる前向きな姿勢を理解し、賛成とします。

修正案に賛成

日本共産党

広沢文隆

町長の施政方針で少子化対策が述べられていますが。子供たちは明日の松伏町を背負って立つ宝です。今回の案は子供を持つ親、住民の要求にかなっていると考えます。議案は一步前進の内容ですが、近隣の市町は子育てを応援する政策を優先して行っています。今回の修正案は、子育てするなら松伏町がいいと評判になる町にしたいと思いい賛成とします。

修正案に反対

新自民クラブ

山崎善弘

増額修正の内容、規模、行政運営における影響度を総合的に勘案すると、町長の予算提案権を侵害すると考えます。この発議は地方自治法212条の規定に抵触する恐れがあるので反対とします。

反対

町民クラブ

堀越利雄

原案及び修正案に反対します。修正案は町長の予算執行権に関する問題ですので、基本的に反対です。

修正案・採決の結果

- 賛成 2人
 - 日本共産党 吉田、広沢
- 反対 12人
 - 新自民クラブ 山崎(善)、山崎(正)、庄子、渡辺、飯島
 - 新政クラブ 高橋、佐藤
 - 町民クラブ 堀越、長谷川
 - 公明党 南田、佐々木

原案・採決の結果

- 賛成 13人
 - 新自民クラブ 山崎(善)、山崎(正)、庄子、渡辺、飯島
 - 新政クラブ 高橋、佐藤
 - 町民クラブ 堀越、長谷川
 - 公明党 南田、佐々木
 - 共産党 吉田、広沢
- 反対 1人
 - 町民クラブ 堀越